特定非営利活動法人

日本健康事業促進協会

— Japan Health Project Promotion Society -

会報: Vol.9- No.4 / 2013 年 10 月号

当協会に対する各種お問い合心せ、ご要型等がございましたら e-mail:info@inpps.org まで、ご連絡ください。

> - 協会所在地 — 東京都中央区佃 1-11-6-305 WWW. jhpps.org

私ども NPO 法人 日本健康 事業促進協会は、「人の健康は 病気の予防に始まり、地球の健康は 環境の保全による」を基本理念としています。

総合的な健康の維持・増進・回復をテーマにしたセミナーやフォーラムの開催、スポーツを通じた青少年の健全育成のバックアップ、地域の市民活動団体とのネットワーク作りを行います。

また健康関連素材の医 学的研究のバックアップも行 います。

これらの活動を通して「人」個々の健康促進をサポートし、充実した人生を送ることのできる生活環境を作り上げることに寄与したいと考えています。

是非、皆様の御協力、御支援を賜りますよう、お願い 致します。

【事業内容】

- ●健康・予防医学に関する新技術の基礎データ・臨床データ取得の受託事業
- 健康・予防医学と健康維持・環境保全に関する、講演会・フォーラム・セミナー・イベント等の開催事業及び素材・製品・機器・技術の調査・研究事業とその成果の認定及び紹介・提供事業並び素材・製品・機器・技術の認定事業及び紹介・提供事業
- メンタルトレーニングシステム構築とメンタルトレーニングを基
- にした青少年・社会人に対する各種スポーツ指導を通した青少年の健全育成事業
- 健康・予防医学・健康維持・環境保全とメンタルトレーニング システム構築の各事業に関する国内外の情報収集活動事業及び 団体・個人への研究会・勉強会を中心とした協賛・提携・参加 等に基づく情報交換事業と人材交流事業
- 出版物の発行等による普及び啓蒙事業
- その他、協会の目的を達成する為に必要な事業

【会 員】協会の目的に賛同して入会する個人・団体

- ・団体 入会金: 100,000円 年会費: 100,000円
- ・個人 入会金: 1,000 円 年会費: 1,000 円 個人会員には、会員証としてポイントカードを発行致します。

【機関誌】年4回発行:健康関連情報・各種学会発表内容・新製品案内や、関連フォーラム・コンサートのご案内を掲載

【その他】

- *会員の方が、当協会機関誌・ホームページに紹介する指定 企業の指定製品をご購入される場合、5~10%のポイント が還元されます。
- *フォーラム、セミナーのご案内を優先してご案内します。
- *各種講演会、各種講座、フォーラム、セミナーを会員価格でご参加頂けます。



わって、伊勢 大湊地区の方々に混じって 40 名程で参加させて頂きました。

伊勢神宮

伊勢神宮は「お伊勢さ ん」、「お伊勢さま」「大神宮 さん」などと呼ばれています が、実はこれは通称で、正式 な名称は「神宮」です。古く は伊勢太神宮ともいいまし た。「神宮」とは、皇大神宮と 豊受大神宮の二つの正宮を中

心に別宮、摂社、未社、所管社等の総計 125 のお 社の総称です。

全国には多くの「神宮」の称号が付くお社がありますが、ここ伊勢の神宮だけがただ「神宮」とのみ呼ばれるのは、大和国の拠り所であり、わが国で最も至貴至高のお社だからです。

皇大神宮は、内宮とも呼ばれています。御祭神は皇室の御祖神であり、また私たち日本(倭)民族の大御祖の神でもある天照大神です。

天照大神は、初め歴代天皇のおそば近くでおまつりされていましたが、第 10 代崇神天皇の時代

式年遷宮特別ご奉仕

今年は、出雲大社の60年に一度の遷宮と、20年に一度の伊勢神宮の遷宮の年です。

石笛奏者の横澤和也さんからご縁を頂いて、伊勢神宮の遷宮行事に参加させて頂くことができました。「特別神領民」としての奉曳参加で、外宮への「お白石持行事」にご奉仕させて頂きました。

第60回の式年遷宮お木曳から地元の神領民に加え、全国からは「一日神領民」として参加が許されるようになり、お白石持行事も第60回御白

石持行事から「特別神領民」と して参加が許されるようになり ました。

特別神領民は、個人的なお白石持行事への参加受付はしておらず、全国の神社庁(神社)、神宮崇敬団体等の篤志団体からの申込受付となるものです。

今回のご奉仕は、ご縁を伝



に、皇居から大和の登縫営にお遷ししてまつられました。次の第11代華代天皇の皇女・養姫命が大御神を永遠にまつる宮処を求めて、伊賀、近江、美濃等の国々を巡幸されました。そして、垂仁天皇26年(約2000年前)、現在の御鎮座地である伊勢の五十鈴川の川上に、「大御神の御心に叶った最も美しい永遠の宮処」としてお鎮まりになりました。御鎮座地は三重県伊勢市五十鈴川上です。

豊受大神宮は、外宮とも呼ばれています。御祭神は天照大神の御饌都神(食事を司る神)である豊受大神です。豊受大神は、私たち日本民族の主食であるお米をはじめ五穀の豊穣、衣食住のめぐみを与えてくださる産業の守護神でもあります。豊受大神は第21代雄略天皇22年(約1500年前)に、天照大神の「お告げ」によって丹波国(現在の京都府・天橋立付近)から、茂公の山田が原に迎えられてお鎮まりになりました。御鎮座地は三重県伊勢市山田原です。

因みに天橋立付近である京都府宮津市字大垣には、元伊勢 籠神社があります。

別宮とは宮号を宣下されたお社をいい、両正宮についで重んじられています。内宮に10所、外宮に4所あります。

摂社とは、『延喜式神名帳』(927年)に所載されているお社です。

末社とは、『延喜式神名帳』には記載されていませんが、神宮の儀式のことを記した『皇大神宮儀式帳』・『止由気宮儀式帳』(804年)の両儀式帳に記載されているお社のことです。

この他に、正宮及び別宮に係り深いお社があり、 これを所管社といいます。

これらの125の諸宮社は、伊勢、松阪、鳥羽の三市、度会、多気、志摩の三郡にわたって御鎮座になっています。

式年遷宮

遷宮とは、新しいお宮を造って大御神にお遷りを願うことで、式年とは定められた年を意味します。神宮には内宮・外宮ともそれぞれ東と西に同じ広さの敷地があり、20年ごとに同じ形の社殿を交互に新しく造り替えます。また神様の御装束神宝も新しくされます。

式年遷宮の制度は、今から約1300年前に第40代天武天皇がお定めになり、次の第41代持統天皇の4年(690)に皇大神宮の第1回目の御遷宮が行われました。以来長い歴史の間には戦国時代の一時期に120年間の中断、また第二次世界大戦後は時期をずらせたこともありましたが、それらを除き20年に一度繰り返されて、本年平成25年には第62回目の御遷宮が行われました。

台風第 15号

数日前から台風第 15 号が発達しながら日本列島に近づいており、「さぁて、どうなるか…」と思いつつ、「いいや、日本の元神様の大祀りに、風神、雷神、龍神が災いする訳が無い」と、バケツをひっくり返したような大雨の中を、約 500 km、ひたすら運転して行きました。「前が見えないよぉ、怖いよぉ」と呻きながら。



二見興玉神社の夫婦石

しかし現地に着いてみれば雨は上がり、青空がで採れる海草でできています。 広がりました。流石!!

お伊勢参りの順序

お伊勢参りには順番があります。まず、二見興 玉神社に参拝します。

古来、伊勢神宮に参拝する者は、その前に二見 #の浜辺で汐水を浴び、禊を行うのが慣わしでし た。それに代わるものとして、二見興玉神社で無 垢塩祓いを受けます。これに使う幣は、二見の海







特に、神宮式年遷宮のお木曳行事やお白石持ち 行事への参加者は浜参宮を行わなければなりません。

と云う事で、宿泊先の岩戸館から興玉神社迄は 眼と鼻の先。私たちの会でまとまって参拝しまし た。当然、全身「白」装束です。

お白石持ち行事

扨て、この大イベントである式年遷宮での行事 のひとつとして、「お白石持ち行事」があります。

私たちが参加させて頂いたのは、9月1日に行 われた、民間行事としては最後になる「外宮への お白石持ち行事しです。

この行事は一連の遷宮諸行事のひとつで、新し い御正殿の敷地に敷き詰める「お白石」を奉献す るものです。宮川から拾い集めた「お白石」を奉 曳車・木そりに乗せ、沿道や川を練り進みます。

お白石持行事は、国の「記録作成等の措置を講 ずべき無形の民俗文化財」として選択され、また 伊勢市の「無形民俗文化財」として指定されてい ます。

「お白石持行事」は、お白石を拾うことからはじ まります。

奉献するお白石は、紀伊山系の大台ケ原を源と する宮川流域で拾います。 宮川は、日本有数の多 雨地帯である大台山系を源流とし、大内山川など の支流と合流して、伊勢湾に注いでいます。 延長 は約 90km、流域面積は 920 kmに及ぶ三重県内 を流れる川では最大の河川です。

各町奉献団それぞれが、お白石実施年の2~3 年前から宮川に出向き、拾い集めて準備をします。

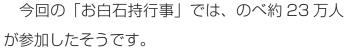
集めたお白石は平成25年の奉献まで、各町の 二見興玉神社 本殿 清浄な場所で大切に保管されます。











当日の参加者は約1万8千人。

8時集合、準備、挨拶、注意などがあり、10時30分出発。この時点でもう汗だくです。

我々が参加させて頂いた大湊地区の木そりは、 近郷で最も大きなもので、車輪だけでも 2m 程あ ります。さてこの木そりを「エンヤー」「エンヤー」 と引くのですが、前後にも他の街の木そりがいま すから、進んでは止まり、進んでは休みになります。 気温は 30℃。台風の湿った空気が取り巻きます。

あちらこちらで救急車のサイレンが聞こえるの





引きの合間に、木遣りや踊りが入ります

は、多分、脱水症で倒れた人の搬送でしょう。

暑さ、湿気、疲労にめげず、僅か 2.5 キロの道 のりながら、5 ~ 6 時間掛けて引きます。

神域に入ってからは、一人ひとりが白布に「お



白石」を包み、遷宮後は立ち入ることの出来ない 新宮の御垣内、真新しい御正殿の近くまで進み、 持参した「お白石」を奉献する行事です。

庶民が御正殿の間近まで参入ができるのは、20年に一度のこの行事が唯一の機会で、全国からの参加希望者が奉献に集います。ただし、新宮造営のための労働奉仕です。あくまでも数kmを奉献のためだけに歩き、御敷地内では私語を慎み、写真撮影は禁止です。

御神域内は撮影禁止なのでご覧頂けないのですが……凄かったです。こんなにきれいな空間があるのだろうか。まだ神様のご遷宮が済んでいない



【お白石ってこんな石】

お白石の石の種類は「石英系白石」といわれるものです。 宮川流域でみられる白石で、水晶のように少し透明感の ある石肌を持つのが特徴です。



のに、この土地の清浄さは何なのだろう。イヤシロチとはこう云う土地のことを言うのでしょう。今迄に、体感した事の無い次元がそこにはありました。唖然…とはこうした感覚を言うのでしょう。

そして持って入る道筋は砂道です。砂道だけが、 私たちが歩ける道筋。本殿のぐるりに砂道が続き、 その周囲に白石が積まれています。

この日で行事は終了です。この後は、神職の方々が、順次砂道を白石で埋めて行き、最後は全てが白石で埋め尽くされます。

そして以降は、天皇家のみがお入りになられます。

しかしこの神域……遷宮が済んだら、一体、どんな空間になるのでしょう。この段階でさえこの超ハイ次元なのに。



中に赤福 + 外は抹茶の赤福氷 ご奉仕後、赤福さんで頂きました。

台風 26 号と初穂曳行事

伊勢神宮の神嘗祭を祝って、市民が新米を内宮へ奉納する「初穂曳」が10月16日にあり、こちらにもご縁あって参加させて頂きました。こちらは、庶民が参加する、遷宮後初の行事です。

ところが今度もまた台風襲来です。近年まれに 見る大型台風 26 号が 15 日、徐々に加速しな がら日本の南海上を北上中。紀伊半島などを風速 25 メートル以上の暴風域に巻き込みました。



お祭りエリアの上空だけが見事に雲ひとつない秋晴れ



9 時集合、準備、お祓い、挨拶、諸注意



船に積まれた稲穂は市内の神田で収穫されたもの

「またかよぉ~」ですね。しかし、「いいや、日本の元神様の大祀りに、風神、雷神、龍神が災いする訳が無い」と、これまたバケツをひっくり返したような大雨と暴風の中を、約500km、またひたすら運転して行きました。「前が見えないよぉ、怖いよぉ、風で車が揺れるよぉ」と呻きながら。

これまた前回同様、 ご神意の侭に当日は見事な 秋空復活!!!

初穂曳は、初穂を積んだ船形のそりを、五十鈴川を遡り内宮へお収めするもので、川曳と呼ばれます。交代で約1000人の曳き手が参加して約100mのロープ2本で、約1km上流の宇治橋まで川の中を歩いてそりを曳き、更に陸路を五丈殿ま



10時30分 初穂曳開始



普段の五十鈴川



10月16日の五十鈴川/増水の上、上流から折れた大木が流されて、引っかかっています。





で進みます。

と言うのが通常の初穂曳なのですが、今回の初穂川曳は、残念ながら台風26号による増水で非常に危険な為、川曳としては中止になりました。

なにしろ普段の五十鈴川は、「禊」の場でもある 位の流れですが、左の写真のように、水量も流速も、 とても川に入れる状況にはありませんでした。

しかし神事です。中止はできません。で、代わりに大八車に米俵や稲穂を積んで約50メートルの引き綱を付け、内宮近くの浦田橋下流から陸路











で出発の陸曳になりました。

台風一過の秋晴れの下、市内の大湊町の住民でつくる大湊奉献団を中心に約1000人が「エンヤー」と威勢良く声を上げ曳き始めます。「エンヤーエンヤー」と、おはらい町から宇治橋を渡ります。内宮へ入り初穂を別け、五丈殿に奉納です。

奉納のお祓いを受け、遷宮後の内宮正殿にお参

りし、清々しく帰路につきました。

次回はまた 20 年後です。20 年後の遷宮で、 今のお宮から神様がご遷宮なされたら、今のお宮 は空き家になりますから、我々も中を伺うことが できます。是が非でももう一度参加して、今回自 分が奉納したお白石に再会したいものです。

(了)



